

山寺通信 9月

コロナ禍のために経済全体が後退しているのが、現在の状況です。ウイルス性の感染症は、感染経路が特定できないので危険な事を避けるしか方法がありません。一番厄介な事はすべてが曖昧であり、解決策がないことです。結局、完全はないので慣れることが一番になります。エイズの時も時間と共に色々な薬ができて、発症しなければ命は奪われないところまでできました。世界が狭くなり、スピード化してきた社会では、病気の拡散も同じように速くなっています。今回のコロナの場合は、今のところ人との接触を避けることに重点を置くことしか予防策がありません。経済的に見ると、主力であった大勢の集客が悪くなっています。それに長期に滞留することも同じです。経営側から見ると正統であったことがすべて否定されています。消費者から見た一般的な評価ですが、お茶は保存のきく食料品であり頻りに買いに行くものでないから、茶店には客が少ない。『いつものお茶』と買う物が決まっていって買い物の滞在時間が短い。それと何となくお茶葉は「**免疫に良い**」と言われている。さらに商品も特定しやすいのでネットでの販売も活発になっています。抹茶やお茶は水やお湯との相性が良いので、トレンドな食品として色々加工されています。また茶具としてガラスのボトルもかなり活用されています。現在の状況では、店頭をスッキリと陳列して密のイメージを無くせば消費者を呼び込むことができるのではないのでしょうか。現在 2021 年版のカタログ製作しています。11 月末には出来上がります。

キャリーティーボトルで水を入れ色々な茶葉で飲み物作ってみました。

